

ごみ減の食品ロス情報サイト

3. 食品ロスを身近に感じる伝え方

＼へらそう！／＼なくそう！／

食品ロス

2R

Reduce, Reuse



ごみ減の食品 ロス情報サイト

3.食品ロスを 身近に感じる伝え方

ごみ減の食品ロス情報サイト

この一連のスライドは、食品ロス問題を多くの人に知ってもらうための情報資料として作成しました。

この問題の深刻さを知ってもらうため、食べ物と環境問題との関わりを広く紹介しています。

順番通りではなく、**関心のあるところ**から(関心のあるところだけ)、見ていただいたら結構です。

ごみ減の食品ロス情報サイト

- 1.食品ロスって何？
- 2.食品ロスと環境問題
- 3.食品ロスを身近に感じる伝え方
- 4.どんな食べ物を捨てているか
- 5.世界視野で「食品ロス」をみると
- 6.食品ロスを減らす取組

3以外のスライドもご覧ください。

ごみ減の食品ロス情報サイト

3.食品ロスを身近に感じる伝え方 メニュー

3.1 食品ロスの発生量

3.2 食品ロスの量をどのように実感してもらうか 様々なデータと比較すると

612万トンを食料に関わるさまざまな数字や
過去のデータと比べる。

3.3 ロスした食品のエネルギーで何ができる 人が歩くエネルギーと比べたら 自転車を漕ぐエネルギーと比べたら 自動車を走らせたら 家電製品を動かすと

3.1

食品ロスの発生量

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。

食品ロスの発生量

「食品ロス」とは、
食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。

食品由来の廃棄物の発生量

推計 2,550万トン

うち、食品ロスは、

612万
トン

うち、家庭からの発生量は、

食品由来廃棄物 783万トン

うち、食品ロスは、284万トン

(農林水産省WEBサイトより 平成29(2017)年度推計)

食品ロスの発生量

(農林水産省WEBサイトより 平成29(2017)年度推計)

食品由来の廃棄物の発生量 ()内は前年度
推計 2,550万トン(2,759万トン)-209万トン
うち、食品ロスは、612万トン (643万トン)-31万トン

うち、家庭からの発生量は、
食品由来廃棄物 783万トン (789万トン)-6万トン
うち、食品ロスは、284万トン (291万トン)-7万トン

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。

3.2

食品ロスの量を どのように 実感してもらおうか

様々なデータと比較すると

612万トンを食料に関わるさまざまな数字や
過去のデータと比べる。

食品ロス 年間 612万トン

様々なデータと比較すると

《参考・比較》

国際連合世界食糧計画(WFP)の食糧支援量
390万トン(2018年)

日本の米生産量 776万トン(2019年産)

// 漁業生産量 442万トン(2018年産)

前と次のスライドのデータ根拠

食品ロス量の出展 農林水産省WEB

食品廃棄物等の利用状況等(平成29年度推計)より

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/attach/pdf/200414-1.pdf>

国際連合世界食糧計画(WFP)の食糧支援量の出典

数字で見る国連WFP2014~2018より

<http://ja.wfp.org/publications?f%5B0%5D=topics%3A2122>

日本の米の生産量の出典 農林水産省WEB

統計情報→農林水産基本データ集→農業生産に関する統計(2)

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/data/06.html>

漁業生産量の出典 農林水産省WEB

統計情報→農林水産基本データ集→漁業生産に関する統計

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/data/17.html>

日本の人口 総務省統計局

統計データ→人口推計→人口推計の概要, 推計結果等→人口推計の結果の概要

平成29年10月1日推計人口 1億2670万6千人

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2017np/index.html>

いずれのWEBも2020年4月30日確認

食品ロス 年間 612万トン

1人あたり1日

どれだけ出しているの？

家庭からの発生分、284万トンを、1人あたり1日で
換算すると、**61**グラム。

1人ひとりが出す分は少なくても、チリも積もれば山となる

食品ロス 年間 612万トン

前年度の発生量と比べると

前年と比べると、31万トンの減少
うち、家庭からの減少は、7万トン

食品加工業や流通業、外食産業など、全体では前年比4.8%の減少だが、家庭から排出される食品ロスの減少は、2.4%。減り方が家庭排出の方が鈍い。

食品ロス 年間 612万トン

ここ数年の発生量を見ると...

	食品廃棄物	うち食品ロス
平成24(2012)年度	2,801万トン	642万トン
平成25(2013)年度	2,797万トン	632万トン
平成26(2014)年度	2,775万トン	621万トン
平成27(2015)年度	2,842万トン	646万トン
平成28(2016)年度	2,759万トン	643万トン
平成29(2017)年度	2,550万トン	612万トン

ここ数年で最も少ない。しかし、高止まり。
毎年常に600万トン以上出ている。

3.3

ロスした食品の
エネルギーで
何が^二できる

食品ロスを別の観点から見ると

1人1日あたり

これだけのカロリー
の食料が供給されている

実際に摂取されている
食料はこちらはこれだけ

供給熱量

摂取熱量

行方不明？

1995年度	2,654kcal/日	-	2,042kcal/日	≡	612kcal
2000年度	2,643kcal/日	-	1,948kcal/日	≡	695kcal
2005年度	2,573kcal/日	-	1,904kcal/日	≡	669kcal
2010年度	2,447kcal/日	-	1,849kcal/日	≡	598kcal
2014年度	2,415kcal/日	-	1,863kcal/日	≡	552kcal
2017年度	2,439kcal/日	-	1,897kcal/日	≡	542kcal
2018年度	2,443kcal/日	-	1,900kcal/日	≡	543kcal

農林水産省「食料需給表」
厚生労働省「国民栄養調査」

両者は統計の取り方が違い、
単純に比較できない。

あくまで参考値ですが...

供給されたはずなのに、
摂取されなかった食品の
エネルギー

供給熱量 摂取熱量
2,443kcal/日 - 1,900kcal/日の差 ÷ **543kcal**

540kcalで、何ができるだろう。

人が歩くエネルギーと比べたら

自転車を漕ぐエネルギーと比べたら

自動車を走らせたら

農林水産省「食料需給表」 両者は統計の取り方が違い、
厚生労働省「国民栄養調査」単純に比較できない。

540kcalで、何ができるだろう。

人が歩くエネルギーと比べたら

体重60kgの人が4.5時間歩く、または
3時間、早歩きをするエネルギーに相当

自転車を漕ぐエネルギーと比べたら

体重60kgの人がママチャリで1.5時間走る、
クロスバイクで1時間15分走るエネルギー

自動車を走らせたなら

リッター20km走る自動車を1,360m走らせる
エネルギーに相当。

前スライドの根拠

徒歩、
早歩きの
エネルギー

厚生労働省

健康づくりのための身体活動基準 2013

参考資料6(p58) 身体活動で消費するエネルギーより

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002xple-att/2r9852000002xpqt.pdf>

自転車利用
の
エネルギー

Panasonic store

自転車の消費カロリーを計算！

今すぐできる効率的な自転車ダイエットより

<https://ec-club.panasonic.jp/bicycle/contents/calorie/>

自動車利用
(ガソリン)
の
エネルギー

石油連盟WEB

統計情報 換算係数一覧

ガソリン1リットルの熱量7,973kcal

石油の標準発熱量より

<https://www.paj.gr.jp/statis/kansan/>

URLは
いずれも
2020.4.27
確認

540kcalで家電製品を動かすと

テレビ	年間消費電力 (単位 kwh/年)	年間消費電力から割り出した1日当り消費電力(wh/日)	1時間当りの消費エネルギー (1日4.5時間視聴するとして)			540kcalで動かせる時間	掲載機種数
			消費電力 (wh)	カロリーに換算 (cal/h)	キロカロリーに換算 (kw/h)		
液晶32型V	57	156.2	34.7	29,844.7	29.8	18.1 時間	69
液晶24型V	44.8	122.7	27.3	23,456.9	23.5	23.0 時間	45
液晶50型V	136	372.6	82.8	71,208.5	71.2	7.6 時間	40

年間消費電力は掲載機種の平均値。

冷蔵庫 (間接冷却式)	年間消費電力 (単位 kwh/年)	年間消費電力から割り出した1日当り消費電力(wh/日)	1時間当りの消費エネルギー (1日24時間使用するとして)			540kcalで動かせる時間	掲載機種数
			消費電力 (wh)	カロリーに換算 (cal/h)	キロカロリーに換算 (kw/h)		
401-450L	312	854.8	35.6	30,630.1	30.6	17.6 時間	23
451-500L	287	786.3	32.8	28,175.8	28.2	19.2 時間	36

年間消費電力は掲載機種の平均値。

前スライドの根拠

テレビ、冷蔵庫の消費電力は、経済産業省「省エネ性能アルバム2019版」より。掲載機種クラスの平均消費電力。

テレビは1日4.5時間視聴するとして、残り時間は待機状態にするとして計算されている。

表では、テレビの待機時間の消費電力は考慮していない。

電力からカロリーへの換算値は、計量法の定義に基づく。

$$1\text{Wh} = 3,600\text{J} = 860\text{cal} \quad 1\text{kWh} = 860\text{kcal}$$

$$1\text{kcal} = 0.001162\text{kWh} = 1.162\text{Wh}$$

$$540\text{kcal} = 0.627\text{kWh}$$

作表 堀 孝弘

540kcalで家電製品を動かすと

液晶テレビなら

32型V 18時間 視聴できる。

24型V 23時間 //

冷蔵庫なら

401-450L 18時間 動かすことができる

451-500L 19時間 //

あくまで「参考」です。使用条件によって変わります。
また、始動時に、多くの電力を消費する場合があります。

まとめ

食品ロスの量は、日本だけでもとてつもない量が発生しています。この数字を情報の受け手に実感してもらうのは、なかなか難しいことです。よく「**東京ドーム●個分**」という例えがありますが、東京ドームにどれだけの食品が入るかかえって見当が付きません。

このスライド(**3.食品ロスを身近に感じる伝え方**)では、違った視点の情報をお届けしました。

次の「**4.どんな食べ物を捨てているか**」も知っているようで、知らない情報が多く載っています。ぜひご覧ください。

ごみ減の食品ロス情報サイト

- 1.食品ロスの基礎知識
- 2.食品ロスと環境問題
- 3.食品ロスを身近に感じる伝え方
- 4.どんな食べ物を捨てているか
- 5.世界視野で「食品ロス」をみると
- 6.食品ロスを減らす取組

残飯による
食生活の損失
11.1兆円

÷

農業・水産業の
総生産額
10.85兆円
(2017年)



現代の食物事情

作者註：筆者の推定では年間700万tの残飯が発生していると思われる。

データは1997～1998年

ご清聴ありがとうございました。

堀 孝弘



京都市ごみ減量推進会議 事務局

Tel 075-647-3444 Fax 075-641-2971

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内13 京エコロジーセンター活動支援室内
ごみ減ウェブサイト <http://kyoto-gomigen.jp/>

連絡先 thori0420@gmail.com

堀個人ブログ 【環境活動・環境教育・役立情報】

～見落としがちな, あんなこと, こんなこと～

<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/>